【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成25年12月5日(2013.12.5)

【公開番号】特開2012-250045(P2012-250045A)
【公開日】平成24年12月20日(2012.12.20)
【年通号数】公開・登録公報2012-054
【出願番号】特願2012-160225(P2012-160225)
【国際特許分類】
Ａ４４Ｂ　11/26　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４４Ｂ　11/26

【手続補正書】
【提出日】平成25年10月21日(2013.10.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
バンド外表面に形成した鋸歯状の係合溝にバックルの係合爪を係合させ該係止状態においてバンドはバックルに接近自在であるが後退不能としたバックルであって、該バックルは、対向する底板と天井枠および両者を接続する両側板とからなり内部をバンドの挿通空間としたバックル本体と、前記天井枠の内側に水平設置され、一端部下面に前記バンドの係合溝に係合可能な係合爪を有し、他端部を前記係合を解除するための押圧部とする操作板とから構成され、該操作板を前記係合爪と前記押圧部の中間点にて前記両側板を結ぶ連結軸で支承することにより該中間点を支点として揺動自在としたバックルにおいて、
前記操作板の上部を水平方向に移動可能なスライド片が前記バックル本体に設置され、前記スライド片を前記押圧部側に移動した状態において、前記スライド片の下面が前記押圧部の上面に当接することを特徴とするバックル。
【請求項２】
前記連結軸の内部に金属片を入れることにより前記連結軸の強度を強く保つことを特徴とする請求項１記載のバックル。
【請求項３】
前記スライド片の移動をガイドするためのスライド溝を前記バックルの両側板に設けたことを特徴とする請求項１または２記載のバックル。
【請求項４】
前記スライド片上に掛止突起を設けたことを特徴とする請求項１～３のいずれかに記載のバックル。
【請求項５】
前記係合爪と前記係合溝の係止状態において、前記バンドを前記バックルから分離する方向に強い力が作用した時に前記操作板の他端部と前記天井枠が突き合わせ状態となることを特徴とする請求項１～４のいずれかに記載のバックル。